



”G-free” 市民スタッフ研修

研修1

ぎふアジア映画祭 表方研修

新しいメンバーも含めて、表方ボランティアの研修をおこないました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、関連ガイドライン等を踏まえたもぎりや場内への案内などを学びました。



研修2 岐阜市民会館の建築的・歴史的な価値についてまなぶ

市民スタッフ 坂口 佳子

岐阜市民会館が、2021年DOCOMOMO Japan選定建築物(日本の建築における近・現代史を知るために必要かつ重要なマスターピース)に選ばれました。ということで、DOCOMOMO Japan選定委員の1人である謡口志保氏(ウタグチシホ建築アトリエ主宰 一級建築士)から、市民スタッフにとっては活動の場の一つである岐阜市民会館について学びました。

建築したのは羽島市出身、岐阜中学(現 岐阜高校)卒業の建築家 坂倉準三(千代菊の蔵元の三男とのこと)。フランスでル・コルビジエのアトリエで働き、帰国後は全国に建物を建てました。

岐阜市民会館は、1967年に竣工し、開館後一部改築を加えながら50年以上も岐阜市の文化を支えてきました。DOCOMOMO Japanが岐阜市民会館を選定の際に決め手となった、技術性、社会性、文化・審美性、歴史的背景についてお話いただきました。そして、実際に市民会館を見学しました。地下に下っていくロビーや劇場内部をはじめ、市民スタッフとしては入ることのない楽屋や奈落、当初は結婚式場や写真スタジオだったところを作り直した2階の練習スタジオ、かつて喫茶室だった(記憶がある方も多いでしょう)舞台上の楽屋等を巡りました。この研修に参加しなければ気にも留めなかったかもしれませんが、市民会館の建物を見直す機会になりました。



上り下りする時の人の視線も意識して、計算されて作られた美しい螺旋階段 昭和レトロなリングのようなホール入り口のドアノブ 円錐形の壁に見事に嵌め込まれた京都清水焼のタイル

”G-free” スタッフ募集!

岐阜市民会館
岐阜市文化センター
施設ボランティア

20代~80代の41名が活躍しています!
自分に合ったスタイルで、やりたい事!できる事!からご参加ください!!

●自主事業公演当日

- ・チケットもぎり
- ・アンケート配布・回収
- ・会場案内 など

●市民スタッフ事業

- ぎふアジア映画祭
- ・企画
- ・映画祭作品選定
- ・運営・広報・HP など

- ・カメラ、ビデオなどの記録撮影
- ・イラストの作成
- ・活動紙、チラシの作成

興味のある方はご連絡ください!
会議の見学も可能です。



岐阜市民会館

〒500-8812
岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
https://gifu-civic.info



岐阜市文化センター

〒500-8842
岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
https://gifu-culture.info

活動誌編集・・・大江 繁美、窪田 百代、坂口 佳子、石樽 郁代、加藤 茂子(イラスト)

第22号

令和5年3月31日

G-free



第22号

令和5年3月31日



すばらしき世界

第396回 市民の劇場
ぎふアジア映画祭



第396回市民の劇場

「第44回 ぎふアジア映画祭」 2022/9/23 ~ 10/15

光の射す出口
のような存在に

市民スタッフ
大江 繁美

皆様こんにちは。本年度も第44回ぎふアジア映画祭を無事終了されたことを感謝いたします。長く続いたコロナのトンネルもようやく出口が見えてきたように思いますが、その先には戦争があり災害があり…重い雲が空を覆い尽くすのではと不安もあります。でも、どんな時でもそれぞれの胸に大切な思いがある限り、映画を撮る人々はいいて、映画を観たいと思う人々はいる。映画を観ると心が活きる！ささやかでもそんな光の射す出口のような存在になれるように、映画上映を続けていきたいと思っております。

「ブータン山の教室」

市民スタッフ
中島 幸子

ブータン文化講座

講師：平山 雄大（「ブータン山の教室」パンフレット監修）
ドルジ監督は「1999年にネットとテレビが解禁され、ブータン人は世界に追いつこうとするあまり国の独自性が失われると思った」と語っています。映画の主人公はオーストラリアへ行きますが、夢は夢として終わります。

上映後、平山先生の講座がありました。「70数万のブータン人のうち約1万人がオーストラリアのパーズにいる。ブータンに義務教育はない。地域格差が大きい。唐辛子を野菜として食べる」など、いろいろな話を聞かせてもらいました。



「ミッション・マンガル 崖っぷちチームの火星打上げ計画」

市民スタッフ
五藤 朱美

火星探査について

講師：川上 紳一（岐阜聖徳学園大学 教授）



長良隕石



知りませんでした・・・。
2014年にインドで火星探査機が打ち上げられていたこと。しかもNASAの火星探査機開発費の1割ですんだこと。その成功に多くのインドの女性科学者の尽力があったこと。想定運用期間6か月を大きく上回る8年もの間映像を送り続けていたこと。映画はいろいろなことを教えてくれます。

人生たかだか80年。はてしない宇宙空間の片隅で終末時計の針をどんどん進めている人間。上映後に火星探査や宇宙について話してくれた理学博士・川上紳一氏の言葉の端々から地球愛・宇宙愛が伝わってきました。このように愛をもった研究によって未知の世界が開けるんだとつくづく思いました。（研究費は潤沢に！）講演終了後も会場の外で持参された隕石を前に観客の方々の質問攻めにあった川上紳一氏。

私、40年ぶりに遭遇できたのに声をかけそびれてしまいました。（宇宙は広いが地球は狭い？）



「すばらしき世界」

市民スタッフ
田中 なぎさ

西川美和監督トークショー

皆さま、こんにちは。ぎふアジア映画祭スタッフの田中なぎさです。昨年も映画祭に足を運んでいただきありがとうございます。今回のゲストは西川美和監督。私ごとながら西川監督は同学年の同い年。事前に目を通した著書から「ああ、同じ時代を生き、同じものを見てきたのだなあ。」と感慨もひとしおだったのですが、ご本人を目の前にすると中々言葉が出てこないのです。ともあれ会場の皆様からの一つ一つの質問に、時にはユーモアを交えて真摯に話される、西川監督の誠実なお人柄に救われたのでした。3年も続くコロナ禍の中、無事映画祭を終えることが出来たのは、感染対策に協力し、足を運んで下さった皆様のおかげです。次回もよろしくお願いいたします。

この映画にリリーさん役で出演されている岐阜出身の桜木梨奈さんからのお手紙を西川監督が読んでくださる素敵なサプライズがありスタッフも大喜びでした。



映画祭 ことばれ話 映画を“体験”できる場所 ~ロイヤル劇場へ行こう~ 市民スタッフ 大江 美穂

昨年10月に開催されたエンジン01文化戦略会議「エンジン01in岐阜」に皆さまは参加されたでしょうか？この活動の中の数々の講座のひとつ《まちなか講座・ナンカヤローネ！守ろう！地元の映画館》が柳ヶ瀬にあるロイヤル劇場で開かれました。パネリストは、作家の林真理子氏、ぴあフィルムフェスティバルディレクター荒木啓子氏、映画プロデューサーも勤める寺脇研氏、映画監督他幅広い活動を行う手塚真氏でした。ロイヤル劇場では35mmのフィルムを映すことのできる映写機2台があります。この2台を使い“かけかえ”を行い映画上映ができる映画館は全国的にみても希少だということ。このシステムがあると美術品の映画フィルムでも上映の許可が出るのだそうです。しかもこの世にある映画はまだほとんどがフィルム！！暗闇で息を潜め光と影を見詰めれば、スマホやテレビのように日常の延長では出来ない“体験”が待っています。私たちに出来ることはこの劇場に足を運ぶこと。なくなってしまう前に大切だと気付くこと。映写技師ももうあまりいないのが現状だそうです…岐阜の宝「ロイヤル劇場」でぜひ皆さんも映画を楽しんでくださいね(^_^)

第397回市民の劇場市民スタッフ企画vol.20

「ぎふ文化センター寄席」 2023/2/4 市民スタッフ 小島 淑子

初めての挑戦！ 「子どもの部」を開催！

今年は、岐阜市の市政運営の一つに「子どもファースト」があることから、初めて「子どもの部」を設け、「大人の部」と二部制にしました。

「子どもの部」では、“初めて落語に触れるみんな集まれ!!”をキャッチフレーズに、動物ものまね（色物）の江戸家小猫さん、鉄道会社にて車掌さんとして勤務されていた登龍亭獅鉄さんの落語を楽しんでもらいました。そして、桂蝶の治さんの指導の元、実際に舞台上がって太鼓を叩く体験も。



又、ロビーにおいては、落語の席の高座を設置し、市民スタッフが事前に手拭いや扇子を使って、落語での仕草を写真に撮り展示した中から好きな仕草を、落語家になりきって写真撮影してもらいました。子ども達が、日本の伝統芸能の素晴らしさや面白さを感じて、楽しいひとときを過ごしてくれたなら幸いです。



「大人の部」は、「子どもの部」と同じ芸者に加え、岐阜大学落研出身の桂鷹治さんに落語も披露して頂きました。しかも今回は、生の寄席の雰囲気味わって頂きたいという思いで、舞台袖から生演奏のお囃子三味線と、子ども達に太鼓の指導をした桂蝶の治さんに、「呼び出し太鼓」「仲入り太鼓」「追出し太鼓」を叩いてもらいました。「子どもの部」で大盛況であった落語家体験の写真撮影を「大人の部」でも楽しんでいただけた様子を、市民スタッフ全員胸を撫で下ろしました。

又来期も、より楽しい公演企画を立案していきたいと思っています。是非興味のある方は、市民スタッフとして御参加していただきますよう、心から願っています。

企画以外にも、広報、記録撮影、会場設営、チケットもぎり、会場案内、場内アナウンスなど、誰もが自分の力を発揮できる場がきっとあります。ぜひご参加ください！一緒に楽しみましょう！！

